

大丸地区 まちきれ実践行動



大丸自治会の協力により、地域清掃活動を行います。皆さんで自分たちの街をきれいにしましょう。

■11月8日(日)

※雨天中止、中止の場合はメール配信サービス等でお知らせします。

■午前9時～11時ごろ

▷集合場所 大丸地区会館(大丸251)

※ごみ袋・軍手は当日お渡しします。

※駐車場無し

■生活環境課環境保全係

環境

用水路にごみ・
草木・汚水等を
流さないでください

市内には、多くの用水路があります。この用水路は農業用の水路であり、農業を行ううえで重要な水を供給しています。用水路にごみや刈った草木等を流すと水質の低下を招くだけでなく、用水路が詰まって水が氾濫し、重大な水害事故を引き起こすこともあります。

また、汚水を流すと農産物の収穫ができなくなり、営農に支障をきたすこととなります。ごみや草木・汚水等は絶対に用水路には流さないでください。

ださい。

■経済課農政係

梨赤星病予防に
ご協力ください

ビャクシン類(カイヅカイブキ、タマイブキ、一部のコニファー等)は梨の赤星病の伝染源となります。稲城の特産物である梨を守るため、市内にこれらの植物を植えないようご協力をお願いします。

■経済課農政係、JA東京みなみ稲城支店指導経済課 ☎377・6002

参加者募集
紅葉の谷戸沢処分場
自然観察会

■多摩地域に在住・在勤・在学の方
■11月26日(木)
■集合 午前8時45分、解散 午後5時ごろ

▽集合・解散場所 ⅡJR八王子駅南口付近

■場 八王子市戸吹クリーンセンター・二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(バス移動)
■費 1500円(昼食代)

■定 40人(申込者多数の場合は抽選し、後日全員に結果を通知)

■申 東京たま広域資源循環組合(Ⅱ)内申込フォーム、はがき

■限 10月30日(金)
■先 東京たま広域資源循環組合(谷戸沢処分場自然観察会)係(〒190・0181西多摩郡日の出町大字大久野7642) ☎042・597・6152

高齢福祉

家族介護教室

エンディングノートの書き方・介護保険等を一緒に学んでみませんか。

■介護している家族、関心のある方

■10月20日(火)

■時 午後1時30分～3時

■場 平尾自治会館(平尾3の7の1)

■定 20人程度(申込先着順)

■申 電話

■先 地域包括支援センターひらお ☎331・6088

認知症ミニ講座・個別相談会

症状や受診のタイミング・治療等について専門医から学び、相談もできます。

■市内在住の方
■11月11日(水)

元気をつくる 栄養教室



高齢期に必要な栄養や、食べる楽しさを基礎から学べる講座です。季節の野菜を使った簡単ランチをミニオードブルにして紹介します。

■おおもね65歳以上の方

■11月30日(月)

■時 午前10時～正午ごろ

■場 i プラザ実習室

■定 10人程度(申込先着順)

※初めての方を優先

■講 管理栄養士

■申 申込フォーム(右記参照)、電話(10月16日(金)～)

■先 高齢福祉課高齢福祉係



市長コラム

No.176

令和8年

熊本地震への支援

この度の令和8年熊本地震で被災された皆様に、改めてお見舞い申し上げますと共に、この災害でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を捧げます。

平成28年4月、わずか2日間で二度の震度7を記録する前例のない大地震が発生してからちょうど10年が経って復興が進み、熊本地震の記憶もやや薄らいでいた最中、またも大きな被害を負ってしまいました。

今回の地震は7月28日午後4時27分に発生し、熊本地方を震源とするマグニチュード7.1、最大震度7(宇城市・氷川町)を記録する大地震で、28日の段階で最大震度5以上の地震が合計4回発生しました。熊本地方の日奈久断層帯・布田川断層帯によると推定され、断層の南側・西側に10年前の「割れ残り」があった可能性が指摘されています。

熊本市の大西市長は、全国市長会防災対策特別委員会の委員長を、私は副委員長を務めている関係で、発災直後から防災課を通じて熊本市と、またSNSにより大西市長と直接情報共有しながら支援を開始しました。

29日には被災地への救援物資搬送を決定し、手配し

た20トトラックに積み込み、翌日東京を出発しました。災害時応援協定を締結している佐川急便さんのご協力に感謝します。

この第一便では、宇城市宛ての飲料水、宇土市宛ての飲料水・おむつ等、氷川町宛ての飲料水・アルファ化米・生理用品セット等を届けております。

また、8月4日の第二便では、熊本市宛ての飲料水・ブルーシート・アルファ化米・簡易トイレ・テント+処理セットを送り、5日の第三便では、熊本市宛ての紙おむつ・サージカルマスクの他、水循環式シャワーと水循環式手洗いスタンドを届けました。

この水循環式のシャワーと手洗いスタンドは、今年度稲城市で初めて導入した機材です。内蔵されたタンクの水を濾過しながら繰り返し使用できるので、酷暑の中で避難生活を余儀なくされている断水した被災地域での衛生を保つことができる優れたものです。

ところで今回の地震が発生する直前、私たちは偶然にも熊本に出張する機会があり、7月9日、10日に稲城・府中墓苑組合の行政視察として熊本市宮墓地等を訪問しました。10年前の大規模災害時に墓苑としてどのように対処したのか、また事前防災として対策できたことがないかをご教示いただきまして。そして、倒壊してしまった阿蘇大橋の隣に架かる新阿蘇大橋を通

り、被災後に移転した東海大学の旧キャンパスに整備された熊本地震震災ミュージアムや熊本城の復興現状も見学してきました。

数々の復興事業が進む中で、大規模な石垣の倒壊や個人墓地の墓石の復旧等はどうしても時間がかかるようです。しかし、通常生活には支障がないまでに復興を遂げ、ミュージアムにしても10年前の地震がレガシーとなってきた矢先に再度震災にあったことは残念でなりません。

災害は忘れた頃にやってくると言われますが、最近では毎年のように大規模な災害が起きてしまっています。わがまち稲城市でも、いつ何時災害が発生するか分かりません。常に防災力強化に取り組み、自助・共助・公助の確立により、災害に強い街づくりを目指して日々努力してまいります。

熊本市の大西市長は、全国市長会防災対策特別委員会の委員長を、私は副委員長を務めている関係で、発災直後から防災課を通じて熊本市と、またSNSにより大西市長と直接情報共有しながら支援を開始しました。



▲被災地へ救援物資を搬送



稲城市長
高橋 勝浩